

ナンバリング	授業科目名 (科目の英文名)	区分
M3140203	イムノメタボリズム学 IV (Immunometabolism IV)	専門科目 生命健康科学コース

必修選択	単位	対象年次	学期	曜・限	担当教員
必修	1	2	後期	集中	小宮 幸作、酒井 貴史、沖本 忠義、井原 健二、 渡邊 哲生、尾崎 貴士 内線：32017 E-mail：t-ozaki@oita-u.ac.jp 内線：32283 E-mail：twatanab@oita-u.ac.jp

【授業の概要・到達目標】

免疫の仕組みを理解したうえで、各領域の免疫関連疾患に関連するヒト免疫学について学修し、自己免疫疾患、免疫不全、アレルギー疾患など多様な免疫関連疾患の成因や仕組みを理解し、医療チームの一員として患者の病態を理解するために必要な基礎知識を身につける。

具体的な到達目標	ディプロマポリシーとの対応					
	1	2	3	4	5	6
1. 全身代謝と免疫との関連を理解する	○					
2. 自己免疫疾患とアレルギー性疾患の成因、機序を理解する	○					
3. 検査方法を列挙し、測定結果を正しく解釈できる	○					
4. 検査結果に影響する代謝因子や生理現象、環境因子を説明できる	○		○			
5. 消化器領域の代表的な免疫関連疾患を理解し、鑑別できる。	○					
6. 鼻の免疫機構と関連する疾患を説明できる。	○					
7. 口腔・咽頭の免疫機構と関連する疾患を説明できる。	○					
8. 耳の免疫機構と関連する疾患を説明できる。	○					

【授業の内容】

1	自己免疫疾患（膠原病Ⅰ）（尾崎 貴士）
2	自己免疫疾患（膠原病Ⅱ）（尾崎 貴士）
3	呼吸器のアレルギー疾患（気管支喘息）（小宮 幸作）
4	呼吸器のアレルギー疾患（アレルギー性肺炎）（小宮 幸作）
5	感覚器のアレルギー疾患（渡邊 哲生）
6	皮膚のアレルギー疾患（酒井 貴史）
7	小児の免疫関連疾患（井原 健二）
8	消化器の免疫関連疾患（沖本 忠義）
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	

【アクティブラーニングの内容・その他の工夫】

A：知識の定着・確認	○	講義内容に関して次回講義で概要をグループ発表する	<ul style="list-style-type: none"> ・講義内容の理解を深めるため、アウトプットを行なう ・講義で学習した内容をグループ毎にまとめ口頭発表する ・症例や動画を使い理解を深める
B：意見の表現・交換	○	グループによる発表、質問	
C：応用志向	○	レポート作成と発表	
D：知識の活用・創造	○	課題提示とレポート作成	

【時間外学修の内容と時間の目安】

準備学修	・教科書、参考書を用いて次回実習内容を予習する（1 h）
事後学修	・グループ毎に実習内容を復習し、発表形式にまとめる（2 h）

【教科書】わかりやすい免疫疾患 宮坂信之 監修・編集 南江堂

【参考書】病気がみえる vol6 免疫・膠原病・感染症 MEDIC MEDIA

【成績評価方法及び評価の割合】

評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8
実技確認試験、学習意欲・態度	80%	○	○	○	○	○	○	○	○
レポート	20%	○	○	○	○	○	○	○	○

【注意事項】

【備考】

教員の実務経験の有無	○	小宮 幸作、波多野 豊、沖本 忠義、井原 健二、渡辺 哲生、尾崎 貴士
教員の実務経験	医師	
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無		
教員以外の指導に関わる実務経験者		
実務経験をいかした教育内容		臨床経験を生かした講義、アクティブラーニングを行なう
授業形態		講義